令和４年度　第１回新見市下水道事業審議会　会議録

【日　時】　令和４年１０月２７日（木）１５：００～１６：１５

【場　所】　新見浄化センター　２階　会議室

【出席者】
・委　　員　林田会長、西川委員、藤原委員、林委員、中川委員、三上委員、松田創太郎委員、大西委員、松原委員、妹尾委員、松田美幸委員、江田委員
計１２名
・市関係者　大西建設部長、石川建設部次長
・アドバイザー　井谷公認会計士（有限責任監査法人トーマツ）
・事 務 局　下水道課：吉岡課長、乗本係長、森本主任、米山主事

【議事次第】
〇令和４年度　第１回新見市下水道事業審議会
１．開会
２．会長及び副会長の選出
３．会長あいさつ
４．議題
（１）令和３年度決算の概要について
（２）将来の経営シミュレーションについて
（３）経営分析について
（４）令和４年度の主な事業の概要について
（５）その他
５．その他
６．閉会

【配付資料】
・「令和４年度　第１回新見市下水道事業審議会」次第
・令和４年度新見市下水道事業審議会委員名簿及び配席図
・令和４年度　第１回新見市下水道事業審議会資料

【会議内容】
〇令和４年度　第１回新見市下水道事業審議会
１．開会

吉岡課長

２．会長あいさつ

林田会長

先ほどは水道の方は時間をさきまして、熱心な協議をいただきまして、有意義な会合になったのではないかと思います。皆様方には本日２つの会合にご出席いただたきましてありがとうございます。世間では新型コロナの第７波が収まったと思ったら第８波が来るのではなかろうかと言われています。こういった世界的な新型コロナの蔓延、またロシアのウクライナ侵攻といったこともあったり、また局地的な災害が各地で起きており、日本でも起きております。非常に厳しい昨今であります。いろいろな事態の中でもどうしても必要なのは水であり、下水であります。新見市の上水、下水がこのような審議会を開催し、いざという時に対応できるようにしておきたいと思います。世の中なにが起きるか分かりませんので、対応できるようにしておかなければなりません。経済を逼迫して非常に苦しい状況であり、物価が高騰し国民、市民の負担が大きく増えております。そのような時に料金を上げるかどうか非常に懸念されるわけですけれども、策定しました答申は１０年くらいのシナリオで作りまして、上げていかなければということもあります。下水につきましてもどうするかということを協議していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

３．議題

（１）令和３年度決算の概要について

事務局説明

・令和４年度第１回新見市下水道事業審議会資料Ｐ１～１０を説明

〈質疑応答・意見と回答〉

■委　員　損益計算書や貸借対照表が付いて、企業の会計に近くなったので、企業人にとっては見やすくなったのではないかと思います。

■委　員　令和２年の時よりもちょっと少ない黒字、令和３年度の目標では今年度の純利益はいくらくらい？

□事務局　目標値については記載をしておりません。

■委　員　目標はなにかあるの？６ページのところに予算額がありますが、予算額がそれにあたる？

□事務局　公営企業につきましては目標数値はないんですが、あえて言えば昨年も申し上げたように予算額が目標にあたるかと思います。予算額から言うと１，２８０万２千円が当年度の当初予算での目標値になろうかと思います。

■委　員　この資料の下に括弧などして目標とか実績とか記入していただければ

分かりやすいなと思います。

□事務局　ご指摘ありがとうございます。次回の審議会の資料では分かりやすいようにしたいと思いますので記入しようと思います。

■委　員　後ろのページの用語の解説にはないの？

□事務局　一般的な用語の解説になりますので記載していません。

（２）将来の経営シミュレーションについて

事務局説明

・令和４年度第１回新見市下水道事業審議会資料Ｐ１１～１４を説明

〈質疑応答・意見と回答〉

質疑なし

（３）経営分析について

事務局説明

・令和４年度第１回新見市下水道事業審議会資料Ｐ１５～２１を説明

〈質疑応答・意見と回答〉

■委　員　豪雨時の不明水流入というのは、雨水が溢れて下水道にたくさん入ってきているということだと思うけど、それって何か対策はあるんですか？

□事務局　原因としてはマンホール蓋から流入することが考えられますが、密閉に近い蓋に換えていけば、流入はある程度防げるのではないかと思います。

■委　員　ゴムのパッキンが付いているようなものに換えていくと流入量は減るだろうけども、それはその分費用がかかるだろうから対費用を考えるとちょっと。いかに予想外の支出なり収入減を減らすかがポイントだと思います。機械の稼働率を上げて、故障率を下げていくか工夫していくことだとか、収入以上に処理費がかかるとか、壊れて手がいるということをいかに予防して最小限に抑えるかということをやっていただきたいなと思います。

□事務局　次の項目にも関わってきますが、近年の豪雨で国道等が冠水をいたしましてマンホールから雨水が入ってくるようなことがありました。雨水対策事業として市街地の側溝の整備等も今年度計画を策定しましたので、来年度以降工事を行います。また再度更新をする際に省エネのものや新しい設備に換えるようストックマネジメント事業を進めております。

■委　員　よろしくお願いします。水道水はスーパーに買いに行けばあるんだけ

ども、下水道だけはどうしようもないので、よろしくお願いします。

（４）令和４年度の主な事業の概要について

事務局説明

・令和４年度第１回新見市下水道事業審議会資料Ｐ２２～２４を説明

〈質疑応答・意見と回答〉

■委　員　　太田、風木谷の河川改修工事があるんですけれども、これって下水道の仕事なんですか？委託関係の浸水対策 新見地区、高尾地区なんですけど、これも下水道の仕事なんですか？

□事務局　　まず、最初の太田谷川と風木谷川については本来で言う下水道事業に関わる事業ではないので、予算については下水道の予算を使うのではなく、一般会計の予算を使っています。建設課の中で、平成３０年災害、令和元年災害があった時に仕事の量等によって、河川改修などについては下水道課が担当しています。先ほども申し上げましたが、予算については下水道の予算を使っていません。それからもう一つ雨水対策につきましては下水道事業になります。下水道事業については、汚水の事業と雨水の事業とありますので、③、④については雨水の事業になりますので、下水道の予算により工事をしております。

（５）その他

〈質疑応答・意見と回答〉

■委　員　　郡部の人口が減って市街地の人口が増えてきている。新見市全体の人口は減っているんだけれども、郡部から内部へ移ってきて来ている。下水道も、そういうところから便利な所、高尾の方や正田の方に出てくるようになってくると思うんですよ。そうした時に人口が少なくなったエリアの管とか施設の管理しないのか、それともまだ家があるので管理を続けていくのか、そのあたりはどうお考えですか？

□事務局　　郡部というのは市の周辺部ということになるかと思いますが、浄化槽については空家になったら閉栓となります。特定環境保全公共下水道についてはまだ利用者が多いですが、農業集落排水などについては、もし５、６軒となった時に管理するかというと難しいかと思います。そうなった場合にはそこに大きめの合併浄化槽を布設するなどして、コストを抑えた管理を検討する必要はあるかと思います。

■委　員　　まだ具体的な事例は発生していなくて、今後出てきたらそういう対

応をするということでいいですか？

□事務局　　そのとおりです。

■委　員　　ありがとうございました。

５．その他

〈質疑応答・意見と回答〉

・アドバイザーから一言

先ほどの水道審議会では全国の動向をお話しましたが、下水道事業については数字で事業のお話をしたいと思います。資料の７ページをみていただいて、私どもが見るときは、まずこの企業体が利益を出しているかどうかを見ます。なので右側の青い欄の支出の下、純利益（Ａ―Ｂ）ここを最初に見ます。支出３，８７０万円は去年より今年の方が上がったんだとなりますが、それで経営が良好になったのかとなりますが、その時にこの企業の収益と費用の構造を見ます。左の収入を見て下さい。収入で１営業収入、２営業外収入を見ますと営業収入では１番が使用料収入がけっこう大きい。全体３億１，７００万円の内３億７００万円が皆さんが支払っている料金ですね。一方で営業外収益１０億４，９００万円、皆さんが支払っている料金の３倍以上にあたります。営業外収益って何かと申しますと、中身が他会計補助金、他会計負担金、長期前受金戻入と分かりにくい部分はあるんですけども、料金以外の国庫補助金、一般会計補助金ということで、一般会計からの繰入金となりますと、皆さんが支払っている住民税などを下水道事業に入れているということです。経営成績が良くなっていても収入の多くが住民税や国庫補助金に頼っているというのが下水道事業の構造になっています。一方で水道事業になりますと料金とそれ以外の収入が半々となっています。下水道の方が料金以外の収入に頼っているということになります。これは新見市さんに限らず一般論としてあります。なんでだろうというとやっぱり下水道の方がコストがかかる、水道管より深いところまで掘らないといけない、汚い水なので管を強くしないといけない。日本で普及させなければいけないということで、国でお金を出しますと言って普及させてきたところが、それが今老朽化しているからそれって今までどおり国がお金出してくれるのかな、住民負担が増えるのかな、そういったところに今行き着いているっていうのが、新見市さんの課題であり、日本の課題になっています。こういう決算書の中で我々はそういったことを見ていますということを参考にしていただけたらと思います。利益が増えてきたからといって、経営がよくなったから増えたわけではないよということをこの公営企業ではご理解いただいて適正な料金は何なのかということをこれからも考えていかなければいけないということになろうかと思います。

・今後の予定：次回は令和５年度に今年度と同様の時期に開催予定。

６．閉会

吉岡課長